

## 政務活動報告書

会派 弘前市民クラブ

|         |  |           |       |         |
|---------|--|-----------|-------|---------|
| 年 月 日   | 2017 年 7 月 10 日 ~ 2017 年 7 月 13 日  |           |       |         |
|         | <p>10日)弘前バスターミナル(9:45)=バス=(10:40)青森空港(11:25)=JAL2804=(12:10)新千歳空港(16:15)=JAL2719=(17:10)女満別空港<br/>(17:20)=連絡バス=(17:50)網走駅(18:52)=JR釧網本線=(19:38)知床斜里駅…ホテル</p> <p>11日)斜里町視察…知床斜里駅(11:11)=快速しれとこ=(13:33)釧路駅(13:39)=スーパーおおぞら8号=(15:19)帯広駅…ホテル</p> <p>12日)帯広市視察…帯広駅(12:57)=スーパーおおぞら6号=(15:41)札幌駅(16:03)=快速いしかりライナー=(16:45)岩見沢駅…ホテル</p> <p>13日)岩見沢市視察…岩見沢駅(12:35)=快速いしかりライナー=(13:19)札幌駅(13:35)=快速エアポート134号=(14:12)新千歳空港駅<br/>新千歳空港(15:30)=ANA1900=(16:20)青森空港(16:35)=バス=(17:30)弘前バスターミナル</p> |           |       |         |
| 相手方会議名等 | 斜里町・帯広市・岩見沢市行政視察   |           |       |         |
| 参加議員名   | 加藤とし子  |           |       |         |
| 活動の概要   | 資料添付の通り  |           |       |         |
|         | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。  |           |       |         |
|         | 主な品目   | 政務活動費相当額  | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
|         | 旅費   | 82,630 円  | 1     |         |
|         | 7月10日バス代   | 1,000 円   | 2     |         |
|         | 7月10日バス代   | 910 円     | 3     |         |
|         | 7月13日バス代   | 1,000 円   | 4     |         |
|         | 旅費キャンセル代   | 19,290 円  | 5     |         |
|         | 7月12日JR不足代   | 540 円     | 6     |         |
|         | 7月13日JR不足代   | 840 円     | 7     |         |
|         | 合計額  | 106,210 円 |       |         |
| 備 考     | <p>・旅費キャンセル代については、石岡千鶴子議員が公務(地域農業者と農業委員会との意見交換会)のため</p> <p>・12日森林公園駅～岩見沢駅区間のJR不足代、13日岩見沢駅～札幌駅区間のJR不足代</p>  |           |       |         |

## 平成29年度 会派「弘前市民クラブ」調査研究費 報告書

■実施年月日：平成29年7月10日（月）～13日（木）

■視察先&視察項目

斜里町（人口：13,045人）：〒099-4192 北海道斜里郡斜里町本町12番地  
斜里ふるさとテレワークについて・ポイ捨て禁止条例について

帯広市（人口：168,168人）：〒080-8670 北海道帯広市西5条南7丁目1番地  
議会改革の取り組みについて

岩見沢市（人口：84,296人）：〒068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
農業振興施策について

■7月10日の行程について：移動日

弘前バスターミナル（9：45 発）＝連絡バス＝（10：40 着）青森空港（11：25 発）＝JAL2804  
＝（12：10 着）・・・昼食は新千歳空港内・・・新千歳空港（16：15 発）＝JAL2719＝（17：  
10 着）女満別空港（17：25 発）＝連絡バス＝（17：55 着）網走駅前・・・網走駅（18：52  
発）＝JR 釧網本線＝（19：38 着）知床斜里駅・・・ルートイングランティア知床斜里駅

■7月11日の行程と内容・所感について

斜里町視察（9：00～10：30）

斜里町議会事務局 事務局長：阿部 公男 TEL：0152-23-3131（内線250）

斜里町議会 議長（歓迎の挨拶）：木村耕一郎 TEL：0152-23-3131

斜里町 総務部 企画総務課：伊藤 智哉（内線204）FAX：0152-23-4150

斜里町 総務部 環境課長：茂木 公司（内線221）FAX：0152-23-4150

○ポイ捨て禁止条例について

- ・条例の概要について
- ・巡回体制について
- ・罰則規定と所有者不明の場合の対処について
- ・予算について



日本で初めての海域を含んだ世界自然遺産登録地

知床世界自然遺産登録（平成17年7月17日に登録）

登録面積：71,100ha（＝琵琶湖より少し広い）

屋久島：10,700ha

白神山地：17,000ha

地元の課題として、農村、山麓地域へのごみ不法投棄、市街地でのペットの糞等の不始末、漂着・釣り人等による河口・海岸のごみ散乱、観光客や地元住民による駐車台等への投棄、タバコの吸い

般のポイ捨て、住民意識の徹底について、条例化による意思表示と抑止効果を図っている。

対象物や対象行為を決め町内全域を対象範囲とし、平成21年4月1日～環境美化推進地区区域を5ヶ所定め、指導～勧告～命令～公表・過料を違反者への措置としている。

関係者の責務や環境美化推進協力員を置く・・・協力員は町内37自治会より平成29年7月現在27名で身分は、町長から委嘱された町の非常勤職員とし、委嘱日から年度末まで報償はない。協力員の役割としては、違反行為を確認した場合、環境課への通報や違反者への注意、回収指示投棄物件を発見した場合、環境課へ通報、自治会内への啓発活動と、日常生活の中で負担にならない範囲での協力をお願いするものとなっている。

予算については、看板代：8万円（1本1万円）、不明の引き上げ処理代として特に家電関係のごみは平成28年度で、12万円程で、公共用ごみ袋は無料となっている。

## 【所感】

平成29年6月末現在での人口が11,797名、世帯数が5,632世帯、漁業や農業での生産額は220.1億円、観光においては日帰り：780,164人、宿泊：453,631人で、125.9億円となっており、自然保護を基調としたまちづくりを進めている斜里町にとっては、世界自然遺産「知床」の景観保全、自然公園等の美化の向上、環境自治体の使命として取り組んでいる。

1977年、斜里町及び現場を担う知床財団では、「しれとこ100平方メートル運動」に開拓跡地の買収から本格的な森づくりをスタートさせたという事で、2017年は「100平方メートル運動」にとって節目の年との事です。かつての森と生き物の営みを取り戻すという100年先を見据えた息の長い取り組みをされていることに、以前、私が青森県環境美化推進員として不法投棄のごみに関する巡回活動に関わっていたことから、斜里町の「ポイ捨てをしない、させない」ことを徹底するためには全町民がポイ捨ての監視役で抑止効果を狙っている施策に、弘前市の場合「生活環境をよくする条例」があります。先般、地元紙に岩木山周辺の清掃活動をされている記事が取り上げられていましたが、毎年捨てられているごみが絶えない・・・という事は、監視カメラの設置強化等が一層必要かと思っています。

私は現在、青森県地球温暖化防止活動推進員として、街なかのポイ捨てごみを拾いながら住民の意識づくりに努めているのですが、ごみを山や空き地に捨てる人がいる実態の中で、今後大型ごみ等の粗大ごみが有料になった場合に危機感を抱く1人として、世界自然遺産「知床」を抱える自治体としてのポイ捨て禁止条例についての視察となりました。

## ○斜里ふるさとテレワークについて

現地視察：斜里テレワークセンター「しれとこらぼ」山内浩彰 知床スロウワークス事務局長紹介

- ・事業概要について
- ・事業の波及効果と
- ・活用状況について

斜里町も他の自治体と同様に“人口減少・少子高齢化社会”が進んでいる。人口減少対策で、魅力ある・暮らしを守る地方創生を進める上で、テレワーク（在宅勤務制度）を活用し、人材誘致を進める。

「テレワーク」とは：テレ（離れた）ワーク（働く）・・・ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方で、働きたくても働けなかった人が働けるようになる。

移動中のモバイル勤務と自宅型の在宅勤務があり、テレワークが企業や労働者、社会にとっても効果は大きい。

テレワークが普及しない問題点としては、セキュリティの情報漏えいの問題、社員の働き過ぎなど労務管理の問題、怠業や評価の難しさといった業績管理の問題、孤独感や情報共有のコミュニケーションの問題、テレワークでできる仕事が少ない、テレワークに適した業務の問題がある。

平成27年度総務省委託事業「ふるさとテレワーク推進事業」は、北海道オホーツクの中核・北見市と知床世界自然遺産の斜里町が連携し、国立工業大学と大自然の魅力を活かすオフィス4拠点に、都市企業9社が「人材確保」を目的に社員を派遣。地元住民・企業・大学・行政が一体で受入、派遣と移住を促進。いつもの仕事ができる ICT 環境と遠隔雇用ノウハウで「ふるさとテレワーク」の広域・持続・発展モデルを実証する。

大学隣接型：サテライトオフィスで業務・・・学生インターンを受入

自然隣接型：テレワークセンターで業務・・・地元住民と交流・家族と長期滞在

商店街利用型：テレワークセンターで業務・・・地味とテレワーカーと交流

職住一体型：サテライトオフィスで業務・・・合宿形式の業務で生産性向上

平成28年度地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金を活用

平成27年度「ふるさとテレワーク」に取り組み、平成28年度もテレワーク事業を継続し、施設の整備や企業誘致、地域での受け入れ体制強化を実施・・・居住スペースの設置、モニターツールの実施。

#### ★斜里テレワークセンター「しれとこらぼ」の紹介

1階:事務スペースで複数の企業等が同時利用できるオープンスペースとなっている。また、Web会議ができる専用部屋のクローズスペースとなっている。

2階：居住スペースの3DKで家族や複数人での利用も可。短期・長期の滞在にも利用可能であり、自炊できる設備も完備。テレワーカーがPC一つで来られるよう、アメニティグッズも完備。

\*知床スロウワークスは、テレワークセンターの維持管理、テレワーカーの受入、おもてなし、町民向けセミナーの開催など、この事業の成功のためには不可欠な団体であるとの事。

\*知床スロウワークスとは・・・平成27年度に地元の受入団体として急遽設立された任意団体。

構成メンバー：町内飲食宿泊業経営者、団体職員OB、町内不動産業者、その他、町内各種事業者約20名・・・主要なメンバーは、以前から移住・定住施策に携わっており、町外からの来訪者に対する受入やおもてなしの経験が豊富であり、ノウハウも蓄積されている。

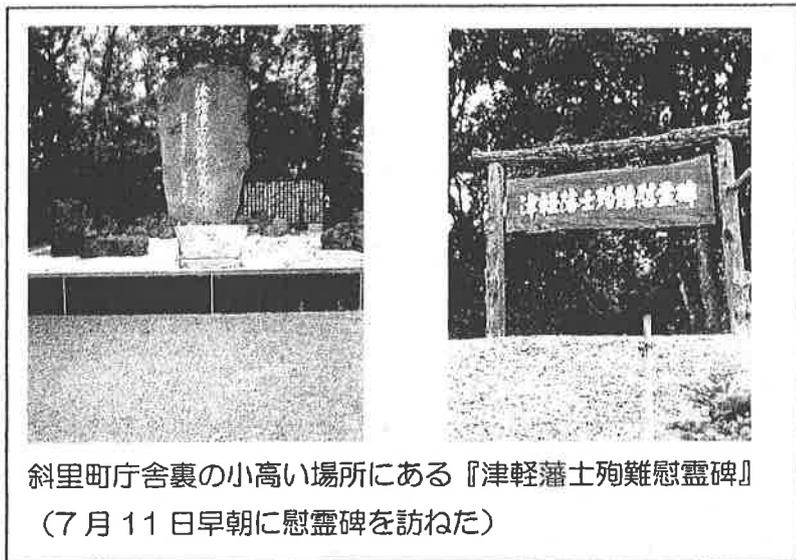
こどものICT教育としての遠隔家庭教師や斜里高校特別授業・遠隔勉強会の地域育成、イベントや講演会・地域産業や文化体験の交流企画、居住や宿泊施設情報・地元食材の提供・移住の生活支援、サテライトオフィスの設置と仕事支援がスロウワークスの役割。

#### 【所感】

斜里テレワークセンター「しれとこらぼ」の具体的な効果として、町内の学校でのテレワーク参加企業による特別授業やテレワーク実施企業による町民向けICTセミナーや講演会等、ICTを活用した漁業の導入に向けた検討、首都圏企業における町内へのセカンドオフィス設置の宣言。町内での新規事業の計画等など、地域住民との繋がりが、新しい取り組みのきっかけになっているとの事で、このセンターは、以前、法務局斜里出張所で撤退後に施設を整備・・・斜里町警察署が向い側にあり、斜里町庁舎に近く、夏季・秋季の首都圏ツアーやグーグル（株）社員がICT授業を行ったり等、

利用企業は延べ42社80名の利用があったとのことで、新しい働き方だけに、弘前市としての今後の取組みを期待したいところである。

## ◎雑感



斜里町は弘前市と昭和58年に友好都市盟約を結んで以来、「ねぶたまつり」等で交流を深めている自治体ではあるが、この度はじめて調査視察で訪問・・・前日の夜8時頃に斜里町に到着し、早朝に慰霊碑を訪ね、町内のあちこちに7月21日からのねぶたまつりのポスターが展示され、慰霊碑のある一帯は、きれいに草刈りがされ整備されていることに深く感謝の思いを抱きました。視察当日は斜里町議会の木村耕一郎議長さんから歓迎のご挨拶をいただき、両自治体の繋がりの深さを改めて感じる機会となりました。

知床斜里駅構内で扇ねぶたを見かけましたので大分ほやけたものとなりましたが一応パチリ。駅内のお店が閉まっていたので、飲まず、食わずでの道中となりました。次に行く時は私費でじっくりと見てきたいです。

知床斜里駅(11:11発)・・・昼食は電車内・・・＝快速しれとこ＝(13:33着)釧路駅(13:39発)＝特急スーパーおおぞら8号＝(15:19着)帯広駅・・・リッチモンドホテル帯広駅前

## ■7月12日の行程と内容・所感について

帯広市視察(9:30~11:30)

帯広市議会事務局 総務課 議事係長 田中 彰

TEL:0155-65-4221(直通) FAX:0155-23-0164

## ○議会改革の取組みについて

1 傍聴者に関して

・ 幼児の一時預かりについて

子育て世代が傍聴しやすい環境整備をすすめ、市民の傍聴を促進するために利用者は、傍聴を予定している会議の3日前までに申込を行い、議会事務局は、こども課を通して保育士を派遣

してもら制度をとっており、預かり対象者は集団保育が可能な 1 歳～就学前までの子どもで定員は 6 名。

保育担当者は、保育士 1 名を配置し随時、事務局職員が補助する体制で、保育士の確保にあたっては、こども課から従事可能な保育所の臨時的任用職員等の紹介を受け、議長が臨時的任用職員として任用するという受入体制となっているとの事。

事故・怪我等の対応として、幼児に事故・怪我等があった場合は、総務部総務課加入の「市民総合賠償保険」で対応する。また、保育士の場合は、公務災害補償の対象となるとの事で、議会傍聴者のための幼児一時預かり受入の際は、必ず事務局職員と保育士の 2 名により対応し、健康状態等確認表に基づいての面談もあるという内容である。

#### 【所感】

幼児一時預かり受入の実績は少ないようですが、議会の傍聴を市民がしやすい条件・環境整備について検討していくことも必要なのかなと感じましたが、弘前市民の中には議会の傍聴をするために、保育園になかなか入れない事から、ヒロ口内の一時預かりを利用された事例がありました。

#### ・手話通訳者の派遣について

平成 26 年度から議場における手話通訳がはじまり、利用範囲は本会議とし、議会の協力体制としては、傍聴対象の議員は、可能な限り事前に発言要旨を文書で提供するとともに、理事者に対しても、わかりやすい言葉の使用や発言速度にも十分配慮するなど、円滑な通訳が行えるよう協力を求めるというもので、なお通訳内容については、専門用語が含まれることなどにより正確な通訳が出来ない場合があることを予め利用者に周知するとの内容で、市障害福祉課でやっている手話通訳派遣事業に便乗する形で行っているもので、議会においても制度を市民に周知するためにホームページや議会だよりを活用しているとのことでした。

#### 【所感】

手話通訳者に限らず、わかりやすい言葉の使用や発言速度は、インターネット中継や FM アップルウェーブによるラジオ放送を行っている弘前市議会にとりましても重要なことだなと感じました。

#### ・携帯型補聴器誘導システムの利用について

補聴器を利用されている方にとって、周囲が騒がしい場所などで雑音により音声の聞き取りが難しい場合、専用のマイクを通じた音声を直接補聴器に伝え、雑音の少ないクリアな音声を聴くことができるようにする装置で、携帯型補聴器誘導システム機器は、平成 27 年度から市障害福祉課が所有し、一般市民等の利用に供する貸与制度を設けていることから、この制度を利用して対応するものとのことです。

対象範囲は本会議のみで、貸与申請が重複する場合の優先順位は、申請の早い順となるため、早めの申込を周知するものとのことで、市議会ホームページやフェイスブック、議会だより及び新聞報道依頼により周知するものとの内容で、弘前市の場合についての確認をと思っています。

#### 2 議会だよりの紙面づくりについて

##### ・予算について

議会だより制作印刷委託業務・・・540万円

議会だより折込手数料・・・・・・・・・・75万円（広報おびひろへの折込）

議会だより配布手数料・・・・・・・・・・25万円

\*定例会に合わせ年4回発行

紙面サイズは、タブロイド判

表紙・裏表紙はカラー、その他1色

レイアウト・デザイン等の印刷原稿作成、印刷業務を外部委託（議会事務局が契約）

配布方法は、広報おびひろ折込

配布先・部数は、各戸、公共施設等、広報おびひろと同じ（78,300部印刷 内訳：おびひろ折込78,000部、議会ストック分300部）

ページ数 6月定例会版、9月定例会版は6ページ

12月定例会版6ページ、3月定例会版8ページ：年間26ページ

●ちなみに弘前市議会だよりの場合、配布手数料は、 $160円 \times 484か所 \times 1.08 = 83,635$   
 $\times 4回 = 334,540円$

・編集委員体制について

位置づけは、任意の委員会とし、各会派から委員1名を選出。

任期は、6月定例会号の発行から翌々年3月定例会号の発行までの2年とする。ただし平成25年3月定例会号を担当する委員の任期はこの号限りとする。なお、補欠委員が生じた場合、後任者の任期は前任者の在任期間とする。

\*役割分担としては、方針に係わる掲載項目剪定や割り付け作業：編集委員

一般質問の質問・答弁、討論等判断を要する原稿の作成・校正：編集委員・各議員

採決結果、意見書・決議等、事実を転記する原稿の作成・校正：事務局

印刷業者との連絡・調整：事務局

\*一般質問・代表質問の原稿作成は、登壇議員で、一般質問の字数は270文字以内。代表質問は1,100文字（写真・イラストを使用する場合は950文字）以内とする。

見出しは、30文字程度で作成し、代表質問では紙面スペースの範囲内で小見出しを掲載できる。

掲載方法：登壇中の写真を掲載：写真は、定例会ごとに各会派の編集委員がそれぞれ選定。

登壇中の写真に不都合がある場合は、前回掲載した写真を使用。

その他の写真、イラストの掲載：一般質問では、その他の写真、イラストは掲載しません。

代表質問では、その他の写真またはイラストいずれか1点を掲載することができる。

掲載にあたっては、著作権法に接触することがないように写真の場合は各会派自らが撮影したもの、イラストは、委託業者作成のイラストを使用する。

★登壇中の写真については、月5千円で議員4年間の活動をアルバム作成している議員全員による任意の団体が定例会ごとの写真を編集委員会に提供している。

\*表紙に掲載する写真は、各号とも本市議会議員自らが撮影したものを募集し、その中から編集委員が決定する。

\*編集後記は、編集委員持ち回りで作成・・・作成順は、任期初の編集委員で決定する。原稿は200文字以内。

★登壇議員作成の原稿の確認方法については、編集委員は、会派内の登壇議員に未調整会議録を配布・・・登壇議員は、原稿とその内容が確認できる部分を指定した未調整会議録を編集委員に提出する・・・編集委員は、編集委員が指定する期日までに原稿を点検し、必要に応じて内容を調整する・・・原稿は、e-mailで議会事務局に提出・・・3月定例会号については、原稿提出期日までに未調整会議録の送付が間に合わないことから、編集委員による初校校正の際に配布する。

#### 【所感】

未調整会議録については、外部委託している業者に10日程で作成したものを編集委員会に渡して会派分の原稿をチェックしている事は、再質問までの答弁も含まれた原稿作成となっており、編集委員会の第1回目が定例会初日、第2回目が定例会最終日、第3回目が委託業者から初校提出後、第4回編集委員会が委託業者から2校提出後ということです。

原稿をチェックする場合、会派人数が多いところでは手分けされているようですが、4回の編集委員会開催は、編集委員の負担感が大との認識を抱きました。

### 3 政務活動費について

・海外視察について・・・平成16年に中止し、平成19年から凍結している。

★帯広市では、政務活動費の用途基準の見直しが平成24年度、一定の条件のもとで都市行政調査と政務活動費との併用を認めることとした。

1. 公務出張は、同一行動を原則としながら次の3点をすべて満たすものについては、政務活動費による併用を認める。

(1) 政務活動を行う時期、案件、訪問する地域により併用が必要と認められる場合。

(2) 併用により当該旅程にかかる経費の節減が図れる場合。

(3) 公務出張と政務活動の日程が連続している場合。

2. 公務分と政務活動による視察分を、時間、場所、経費において重複することなく明確に区分する。

3. 公務出張の同一行程に合流する時点まで、離脱した時点からの費用において、公費の支出がない部分については、政務活動費で支出することができる。

#### 【所感】

帯広市の都市行政調査と政務活動費との併用を、一定の条件のもとで旅程にかかる経費の節減が図れる場合等として認める取組みには、担当職員間での調整任務が多くなるのではないかとの懸念を抱きました。

政務活動費については平成21年度から前年度分の政務調査費の収支報告書をホームページ及び行政推進室において閲覧できるようにしている。

また、平成23年度分の政務調査費（現：政務活動費）から、支出内容を確認できる書類（支払調書、領収書）の写しを議会図書室において申出により閲覧できるようにしているとの事。政務活動費は、会派及び会派に属さない議員に対し、議員数×月額3万円を四半期ごとに交付されているとの事で、政務活動費の透明性の確保が住民自治の主権者である市民への誓約となるとの話に納得。

#### 4 一般質問の進め方について

一般質問：一括質問方式は 60 分以内で 3 回まで。(答弁を含む)

一問一答方式は 60 分以内で回数制限なし。(答弁を含む)

代表質問：90 分以内で回数制限なし(答弁を含む)

\*平成 20 年 3 月定例会から選択制により一問一答方式を導入。対面演壇方式については、代表質問は平成 17 年 3 月定例会から、一般質問は平成 20 年 3 月定例会から採用。

\*通告制を採用し通告期限は、本会議初日終了後 20 分以内(市政執行方針の説明がある場合は、翌日 17 時まで)に、発言の要旨をまとめた発言通告書を提出する。順序は、抽選により(代表質問は大会派順)決定する。

\*議会中継については地元ケーブルテレビ、インターネット中継、平成 27 年 9 月からは、スマートフォン・タブレット端末による視聴にも対応している。

★本会議及び委員会において市長等に反問権を付与。なお、反問の範囲は、議員の質問や質疑に答弁するため、発言の趣旨や不明部分を明確にするための確認とする。

#### 【所感】

議員の資質向上を図るため、講師を招き全議員を対象とした研修会を平成 22 年度から開催している取組みについて、議員研修の充実強化につながる注視すべき取組みである。

#### ◎雑感

説明と質疑応答で 2 時間目いっぱい使い、議場も見学させていただきました。壇上は、車いす対応という事で演壇が上下する対応となっています。

昼食は、庁舎内に食堂(市役所職員食堂スカイレストラン業務委託運営会社)があるという事で案内をしていただき、ランチを食べてきました。11 階は眺望がすばらしく、喫茶コーナーと食堂に分かれて配置されていました。

ちなみに、アンケート用紙には、メニューについて味や価格はいかがでしたか?接客について、スタッフの対応はいかがでしたか?その他ご意見・要望を、ご意見箱へという内容でした。

弘前市においてもレストランが開店されているので、帯広市庁舎内食堂には・・・と利用して来ました。

11 日帯広市での夕食は、歩いて 3 分ほどの北の屋台村に行き、「コの字型」のテーブルに集った見知らぬ方々と話に花を咲かせ、赤ワインと北の味を満喫してきました。

隣席の方は十和田市からのご夫婦で、以前、弘前や板柳の高校教師をされていたとの事で大いに盛り上がりました。お店のご主人から、八戸市のみろく横丁をつくる際にモデルとなったようで、完成した後に帯広から見に行ったが、八戸は遠かった・・・との弁。

議会事務局職員さんから、あの屋台村はいつも満杯で賑わっているとのことのお話に納得。

昼食は帯広市内・・・帯広駅(12:57 発)＝特急スーパーおおぞら 6 号＝(15:41 着)札幌駅(16:03 発)＝区間快速いしかりライナー＝(16:45 着)岩見沢駅・・・ホテルサンプラザ

## ■7月13日の行程と内容・所感について

岩見沢市視察（9：00～11：00）

岩見沢市議会事務局 書記：坂野 美香 TEL 0126-23-4111（内線463）

岩見沢市議会 議長：井幡 修一

岩見沢市農政部 農業政策推進担当次長兼農務課長：菅 星彦二 FAX 0126-23-9977

岩見沢市農政部 農務課農業経営係 係長：立野 孝宏 FAX 0126-23-9977

岩見沢市農政部 農務課農業振興係 係長：加藤 宏規 FAX 0126-23-9977

### ○農業振興施策について

- ・地産地消と販路拡大の推進について
- ・付加価値の向上と農業の6次産業化の推進について
- ・地域農業を支える人づくりについて



担当職員から説明を受ける

### 【所感】

石狩平野の中央部にある岩見沢市は泥炭地のため客土による土地改良を進め、石狩川などの水量豊かな水系に恵まれた、肥沃で広大な耕地を活かし、“北海道一”のお米の生産地（平成28年産米の作付面積：6,660ha、収穫量：36,800t）で大規模な農業経営を展開され、近年は、小麦・大豆・白菜・南瓜等の添削割合が増加しているほか、玉葱は北海道を代表する産地を形成し、「まるいわ」ブランドとして全国展開しており、それぞれ日本の食料基地としての重要な役割を果たしていることを移動中の車窓からも実感。

岩見沢市では、既存の「岩見沢市米消費拡大推進協議会」を改変し、平成18年8月に「岩見沢市農産物消費拡大推進協議会」を設立。諸イベントとして、紋別市との交流で「魚の出前授業」や東京都板橋区の小学校の食育授業や大山商店街ピッコロ広場にて開催される「大山ふるさと夏まつり」など、15の自治体の夏祭りに参画し、岩見沢特産物イメージキャラクター「いわみちゃん」が果たす役割は大きいと感じました。

岩見沢市では、新規就農サポート事業を展開され、担い手育成（農業後継者対策）として、新規学卒者やUターン者・新規参入者等の多様な担い手の育成・確保が重要であることから、平成21年度に、岩見沢市、岩見沢市農業委員会、農業改良普及センター、JA、岩見沢農業高等学校等の関係団体により、岩見沢市農業後継者対策協議会を設立。

就農支援制度として「求む 農力」新規就農パンフレットを作製：研修生が安心して研修できるように宿泊施設「いわみざわ就農サポートハウス」を完備し、平成24年度から供用開始をしている。A棟とB棟があり、B棟にはミーティングルーム（2戸分を連結し改修）があり、打合せや、地域農業経営者等を招き、茶話会や研修会を開催し、担い手育成・確保に努められている「求む 農力」新規就農パンフレットに就農支援制度に対する熱意を感じた。

岩見沢市では、平成23年度にトマト、きゅうりなどの園芸作物の研修ができるように地中熱とヒートポンプによるハイブリットな研修用園芸ハウス「北村農業試験圃研修用ハウス」を整備している。

退職された学校の先生やJA職員、地域が推薦し、3名～4名の女性農業委員が活躍していることは、農協の店「Aコープ」の現地視察があり、6か所ある中での1箇所を視察させていただきました。毎朝、農家のお母さんたちの愛情がたっぷり入った採れたて新鮮野菜が直接Aコープに並び「も

ぎたて市」が生産者直売として元「西友」撤退で施設を購入したとの事・・・生涯学習課をはじめとした教育委員会が入っているとの事。

1階の店内には、新鮮野菜のコーナーや情熱米「ななつぼし」「おぼろづき」、南瓜の焼酎「南粋」、米粉や岩見沢ワインなどが販売されて非常に賑わっていました。

## ◎雑感

12日は、ホテルが紹介してくれたお店で夕食・・・隣席にお店の常連客という方と語らいに花が咲き、今年、北村から岩見沢市議会議長さんが就任されたというお話を北海道建設業の会長さんから「岩見沢市で大きなイベントがあった際に、札幌市に宿泊される人が多いとのことのお話を伺った。

翌日の視察においては、岩見沢市議会議長である井幡 修一氏から歓迎の挨拶を受ける運びとなったことは、前日の会長さんがお話されたのかな？とも感じています。

調査終了後、議会事務局の坂野さんが「バラ園」を案内下さり、昼食のお店に送って下さり、岩見沢駅までの道のりは5分程でした。

この度、石岡議員に公務が入り農業行政に関しては疎いのですが、消費者の立場からも、近年の農家戸数の減少と農業者の高齢化等による担い手不足問題など岩見沢市の支援制度を学ばせていただきました。

今回、私が説明を受けている写真だけになりましたが、グッドデザイン賞を受賞された岩見沢駅の紹介をします。

★岩見沢駅は、木造2階建ての3代目駅舎が2000(平成12)年12月の火災で焼失した後、2007年6月23日に新駅舎の駅舎部分が、2009年3月に市の施設である「岩見沢市交流プラザ」「有明連絡歩道(自由通路)」が開業した。岩見沢複合駅舎は「岩見沢駅舎建築デザインコンペ」の最優秀作品にもとづき設計され、外装に鉄道の歴史や地域文化を象徴するレンガと古レールを用いた点が特徴で、2009年度グッドデザイン大賞を受賞している。



昼食は岩見沢市内・・・岩見沢駅(12:35 発)＝区間快速いしかりライナー＝(13:19 着) 札幌駅(13:35 発)＝快速エアポート134号＝(14:12 着) 新千歳空港駅＝新千歳空港(15:30 発) ANA1900＝(16:20 着) 青森空港(16:35 発)＝連絡バス＝(17:30 着) 弘前バスターミナル

## 【総括】

このたびは政務活動費での調査視察となり、一人ということから説明事項を聞き漏らすまいとメモをとったものの不明部分もあり録音機器が必要だなと感じました。

また、説明を受けながらその都度質疑を交わし、現場視察もあったので、テレワークセンターの写真の撮り損ねたりなど失敗。

聴く、メモる、時間を気かけながらでの列車の移動でした・・・斜里～釧路間は何処までも湿原、帯広～岩見沢間は大豆や麦、ジャガイモ畑が広がり、広大な北海道を十分に認識させられた視察となりました。

世界自然遺産

知床



議会事務局

北海道斜里郡斜里町本町十二番地  
電話(0152)231311

議長

木村耕一郎

北海道斜里町議会



知床スロウワークス 事務局長

山内 浩彰

yamauchi hiroaki



世界自然遺産知床のまち

斜里町議会事務局

事務局長 阿部公男

〒099-4192 北海道斜里郡斜里町本町12番地  
TEL. 0152-23-3131(内線250) FAX 0152-22-2230



世界自然遺産「知床」のまち

斜里町役場

総務部 企画総務課

課長  
兼企画係長

伊藤 智哉

ITOU TOMOYA

〒099-4192 北海道斜里郡斜里町本町12番地  
TEL (0152)23-3131(204) / FAX(0152)23-4150



SHIRETOKO!

知床

休で感じる世界遺産。 / 斜里町

SHIRETOKO!

斜里町 総務部 環境課長

茂木 公司

Mogi Kai

〒099-4192  
北海道斜里郡斜里町本町12番地  
TEL. 0152-23-3131(内線221)  
FAX 0152-23-4150

帯広市議会事務局 総務課



議事係長 田中 彰



〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地  
TEL.0155-65-4221(直通) FAX0155-23-0164  
E-mail city\_council@city.obihiro.hokkaido.jp

議長  
岩見沢市議会  
井幡修一

北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
電話(0126)231411



岩見沢市 議会事務局

書記 坂野 美香



岩見沢市の花「ほろ」

〒068-8686  
岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL 0126-23-4111 内線463  
FAX 0126-25-5503  
E-mail



岩見沢市 農政部

農業政策推進担当次長  
兼農務課長

菅 星栄二  
Suga Seeji



〒068-8686  
北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL: 0126-23-4111  
FAX: 0126-23-9977  
E-mail:



岩見沢市農政部農務課農業振興係

係長 加藤 宏規

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL: 0126-23-4111 FAX: 0126-23-9977  
E-mail:



岩見沢市 農政部

農務課 農業経営係

たてのたかひろ  
係長 立野 孝宏



〒068-8686  
北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
TEL (0126) 23-4111  
FAX (0126) 23-9977  
E-mail: noumuka@i-hamanasu.jp  
<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>

弘前市民クラブ 行政視察日程表(政務活動費) 平成29年7月10日(月)～13日(木)

| 月 日          | 経 路  | 視 察 先  | 宿泊場所等  |
|--------------|--|--|--|
| 7月10日<br>(月) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前バスターミナル(09:45) = 連絡バス = (10:40) 青森空港</li> <li>・青森空港(11:25) = JAL2804 = (12:10) 新千歳空港</li> <li>【昼食】新千歳空港内</li> <li>・新千歳空港(16:15) = JAL2719 = (17:10) 女満別空港</li> <li>・女満別空港(17:20) = 連絡バス = (17:50) 網走駅前</li> <li>・網走駅(18:52) = JR釧網本線 = (19:38) 知床斜里駅</li> <li>【夕食】斜里町内</li> </ul>      | <p>● 移動日</p>   | <p>【宿泊場所】</p> <p>ルートイングランディア知床<br/>一斜里駅前—<br/>斜里郡斜里町港町16-10<br/>TEL 0152-22-1700<br/>FAX 0152-23-1012<br/>※駅から徒歩1分</p> |
| 7月11日<br>(火) | <p>※08:50ホテルへお迎え、帰日も駅まで送迎あり</p> <p>【斜里町視察】(09:00～10:30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知床斜里駅(11:11) = 快速しれとこ = (13:33) 釧路駅</li> <li>【昼食】電車内</li> <li>・釧路駅(13:39) = 特急スーパーおおぞら8号 = (15:19) 帯広駅</li> <li>【夕食】帯広市内</li> </ul>  | <p>● 斜里町(人口 13,045人)</p> <p>斜里郡斜里町本町12<br/>【事務局】0152-23-3131 鶴巻様</p> <p>①斜里ふるさとテレワークについて<br/>②ポイ捨て禁止条例について</p>                     | <p>【宿泊場所】</p> <p>リッチモンドホテル帯広駅前<br/>帯広市西2条南11-17<br/>TEL 0155-20-2255<br/>FAX 0155-20-2256<br/>※駅から徒歩1分</p>             |
| 7月12日<br>(水) | <p>※09:15ホテルへお迎え、帰日も送迎あり</p> <p>【帯広市視察】(09:30～11:30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【昼食】帯広市内</li> <li>・帯広駅(12:57) = 特急スーパーおおぞら6号 = (15:41) 札幌駅</li> <li>・札幌駅(16:03) = 区間快速いしかりライナー = (16:45) 岩見沢駅</li> <li>【夕食】岩見沢市内</li> </ul>  | <p>● 帯広市(人口 168,168人)</p> <p>帯広市西5条南7-1<br/>【事務局】0155-65-4220 西端様</p> <p>①議会改革の取り組みについて</p>  | <p>【宿泊場所】</p> <p>ホテルサンブラザ<br/>岩見沢市4条東1丁目6-1<br/>TEL 0126-23-7788<br/>FAX 0126-23-7795<br/>※駅から徒歩12分</p>                |
| 7月13日<br>(木) | <p>※08:50ホテルへお迎え、帰日も駅まで送迎あり</p> <p>【岩見沢市視察】(09:00～11:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【昼食】岩見沢市内</li> <li>・岩見沢駅(12:35) = 区間快速いしかりライナー = (13:19) 札幌駅</li> <li>・札幌駅(13:35) = 快速エアポート134号 = (14:12) 新千歳空港駅</li> <li>・新千歳空港(15:30) = ANA1900 = (16:20) 青森空港</li> <li>・青森空港(16:35) = 連絡バス = (17:30) 弘前バスターミナル</li> </ul> | <p>● 岩見沢市(人口 84,296人)</p> <p>岩見沢市鳩が丘1-1-1<br/>【事務局】0126-23-4111 坂野様</p> <p>【担当携帯】090-9752-2966</p> <p>①農業振興施策について<br/>(現地視察あり)</p> |  |

# 政務活動報告書

会派 弘前市民クラブ

|         |   |          |          |       |         |
|---------|---|----------|----------|-------|---------|
| 年 月 日   | 2017 年 9 月 30 日   |          |          |       |         |
|         | 弘前駅(7:26発)=JR奥羽本線=(8:01着)新青森駅(8:20発)=新幹線はやぶさ46号=(11:44着)東京駅<br>東京駅=地下鉄東京メトロ丸の内線=霞ヶ関駅=徒歩=日本プレスセンター<br>日本プレスセンター=徒歩=霞ヶ関駅=地下鉄東京メトロ丸の内線=東京駅<br>東京駅(17:20発)=新幹線はやぶさ29号=(20:40着)新青森駅(20:53発)=JR奥羽本線=(21:33着)弘前駅 |          |          |       |         |
| 相手方会議名等 | 第46回『都市問題』公開講座「自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか」   |          |          |       |         |
| 参加議員名   | 加藤とし子   |          |          |       |         |
| 活動の概要   | 資料添付の通り   |          |          |       |         |
|         | 主な品目  | 政務活動費相当額 |          | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
|         | 旅費  | 29,110 円 |          | 8     |         |
|         | 9月30日地下鉄代   | 170 円    |          | 9     |         |
|         | 9月30日地下鉄代   | 170 円    |          | 10    |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   |          |          |       |         |
|         |   | 合計額      | 29,450 円 |       |         |
| 備 考     |   |          |          |       |         |

## 平成29年度 会派「弘前市民クラブ」研修費 報告書

### ■第46回 『都市問題』公開講座

○テーマ：「自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか」

○と き：9月30日（土） 13：30～16：30

○ところ：日本プレスセンター 10階ホール  
（〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1）

○参加者：加藤とし子

○出演者

基調講演

西尾 隆氏（国際基督教大学教養学部教授）

パネルディスカッション

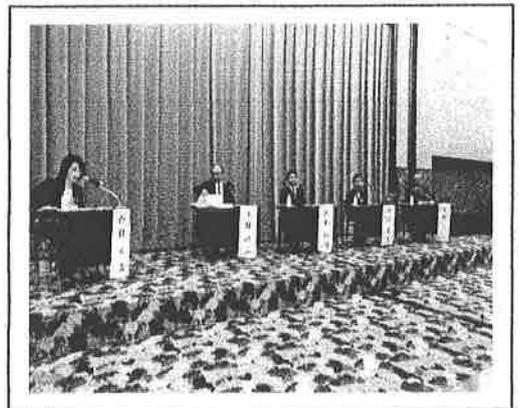
上林 陽治氏（公益財団法人地方自治総合研究所研員）

平野 公三氏（岩手県大槌町長）

山本 悟司氏（京都府建設交通部長）

渡辺 寛人氏（NPO 法人 POSSE 事務局長）

西村 美香氏（成蹊大学法学部教授）：司会



（西村・上林・山本・渡辺・平野）

○参加費：無料

○事務局

（公財）後藤・安田記念東京都市研究所

TEL：03-3591-1239

FAX：03-3591-1209

<行程>

弘前駅7:26発・・・JR奥羽本線・・・8:01着 新青森駅 8:20発新幹線はやぶさ46号  
11:44着東京駅～昼食：東京駅構内＝東京駅丸の内中央口＝東京メトロ丸の内線・・・霞ヶ関駅  
＝徒歩で内幸町口Cの4番＝日本プレスセンター・・・公開講座（13:30～16:30）  
日本プレスセンター＝内幸町口Cの4番＝徒歩で霞ヶ関駅へ・・・東京メトロ丸の内線・・・東京  
駅丸の内中央口＝東京駅17:20発・・・新幹線はやぶさ29号・・・新青森駅20:40着  
新青森駅20:53発・・・JR奥羽本線・・・弘前駅21:33着～弘南バス最終便が土曜日お休みの  
ため、タクシーで帰宅。

## ■第46回『都市問題』公開講座

基調講演：自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか 13:35～14:20

～ミニマム論の視点から～

講師：国際基督教大学教養学部教授 西尾 隆 氏

内容：はじめに

- ・リスク社会について科学の発展ゆえのリスクがあり、自然災害と少子高齢化・人口減少により社会を不安にしている。

シビルミニマム：優先順位をつけてミニマムの計画化を考える。

資料図2-7 都市型社会の生活・政策構造

事例

- ・「鍋釜作戦」という防災のイベントとして阪神淡路大震災の後に使われた・・・参加者に鍋・釜・まな板・包丁・食材を渡す～元気な人達は道具があると出来る。単なるお客さんとしてでなく、参加する。

- ・教師の多忙化について、フィンランドは教育水準が高く、子ども達が4時以降に学校に残ることがなく、教師の数の違い、地域にクラブがある。

『自学』といって学校で学んだことを復習し予習もする。また、学生だけでのディスカッションとかある。

### 1. 公務員数の減少とその背景

外部化が進んできた。身を切る改革がキーワードとなり、背景として、公務員は数を減らせるとの考え方で自治体レベルで減ってきている。

### 2. 人手不足と公共サービスの実態

水道職員の絶対数が減っている。

笹子トンネル：マンパワー必要とする。

児童虐待の人員がたりない。

自殺対策については、90年代後半、3万人を超えた。

### 3. 神奈川県厚木市の取り組み

23年間に職員数を1024人から691人に・・・職員数が減って功罪が今出ている・・・委託化、指定管理者制への移行、新たな「定員管理方針」：市民課・国保年金課の窓口業務ほかの委託化。土木・建設職の採用難、年齢構成のゆがみ、技術の継承という課題。

### 4. 専門家からみた民間と公務員

- ・専門能力発揮のチャンス、報酬で民間優位
- ・土木、建築の場合、獣医師の場合：「現場」への近さで民間優位

### 5. 公共サービスとさまざまな補完のあり方

- ・被災自治体への支援体制：国・県・近隣自治体・遠方の自治体・・・広域連携の一例として、縁野市など三陸9市町村による後方支援のための協議会
- ・日常業務・正規職員への補完：AI、ICT、在宅勤務、非正規職員、任期付職員、交流人事
- ・非正規職員への支援：保育などを付けて働き易くする、ボーナス、雇用の安定化

終わりに

- ・リスク社会の生活圏：市民と職員の権利保障・安全確保・・・行政はあくまで市民への自立支援
- ・自治・分権及び補完で多様な「ミニマム行政」の模索を。

## パネルディスカッション 14:30~16:30

西村 美香氏（成蹊大学法学部教授）：司会・・・人手不足の原因、どう乗り越えるか

上林 陽治氏（公益財団法人地方自治総合研究所研員）・・・本当に人手は足りないのか  
絶対数が足りないのか、必要なところにいるのか：OECDの3分の1程度の日本、世界の  
中で公務員が大変少ない：人手を増やしても解消にならない・・・図書館など、専門性にかかわ  
れる所に職務無限定（異動しないが非正規公務員となっている。）

山本 悟司氏（京都府建設交通部長）・・・技術職の実証へ

京都府は15市10町1村の26市町村で構成され、交通、社会資本のインフラが必要だが、  
インフラの技術職員が減ってきている。

「笹子トンネル」の崩壊、老朽化・・・5年に1回必要な目視で見ることの法律での義務付け  
土木職員が減ってきている。インフラの技術者は市町村で少なく、1人や2人の所もある。

渡辺 寛人氏（NPO法人POSSE事務局長）・・・POSSEの取り組み

外側から見た自治体の現状を調査活動、政策研究・提言、労働相談、労働法教育を若者自身の  
手で行うNPO法人。

現在、会員は約300人、20代を中心に40~50人のメンバーで運営している。

年間およそ3000件の労働相談・生活相談に対応している。

雑誌『POSSE』の発行

事例

：若者の生活相談は、昨年500件で福祉事務所に行ってから相談に来る・・・十分な対応が受け  
られない。

：DV被害では、窓口の対応が「加害者との連絡を取って下さい」とPOSSEにきた。

：生活保護を受けている方が妊娠した場合、「おろして下さい」と。

\*人手不足について、民間の労働者と公務員バッシングが強まって、民間労働市場の劣化が凄ま  
じい。地域の課題の発掘と問題化し、自治体への働きかけをするが、民間のNPOが下請けに  
ならない事も。

平野 公三氏（岩手県大槌町長）・・・東日本大震災による大槌町の状況

大槌町の町長が流され、仲間が瓦礫に沈んでいく姿を見た。136人中、犠牲者33人・・・応  
急対応ができると思った。

家族を亡くし、家をなくした・・・公務員として、不眠不休で働き、自殺者1名（高速道路から  
身を投げた）・・・ほとんどの職員が大変な状況であった。

応援職員が来て、お互いに何をしたらよいか分からなかった・・・早期退職者が、心が崩れて  
いく・・・事務分掌が崩れる・・・民生部門は終わり状態・・・技術職員が大変な状況にあった・・・  
多くの派遣があったが地元を知らない。

\*復興と地方創生・・・いびつな体制で、心のケアが必要な職員が20%もいる。

西村>人手不足は仕事量・・・専門性を持った人が足りない、働いている職員間のダメージがマネ  
ジメントが駄目になる。人手が足りているが非正規職員（専門職員）何がネックになって  
人手不足が解消できないのか。

渡辺>公務員を削減していく流れ：公務員は優遇されている意識・・・公共サービスの重要性が軽視されている。短絡的な議論が力を持ってしまう。

長時間労働、ブラック企業により、大卒の若者が1年、2年で潰されて、ねたみ・嫉妬がバッシングに繋がっている。

公共サービスがどれだけ重要か示していく。自分の仕事を自覚する。

福祉行政では、貧困に対する偏見、生活保護を減らすことが使命のような感覚を持っている。2900万人以下が生活保護以下で暮らしている・・・ケースワーカーの人達があまり見えていない。追い返してしまう。バッシングに流される。

山本>バブル以降、公共事業減

少子化の中で土木を受ける大学生が少ない。

採用においては、学んでいる学生が少なく、若手が集まらない・・・長い目で見て育成する力を育てなければならない。

平野>復興事業：働く場所の確保と宿泊場所の確保、土地勘のない人と地元が組んでやることの難しさ。人を集めて来ても上手く回らなかった。3ヶ月交代・・・6ヶ月・・・1年：厳しい復興の取り組み

西村>非正規を増やすことの弊害：非正規を増やすことが人手不足に拍車をかける。

渡辺>魅力的な職場でなくなってきたことを認識しなければ・・・コンビニ仕事である。

上林>仕事をやる意味を分かっている非正規だが、扱い方がひどいから人が集まらない。

自治体の中における専門性の位置づけ・・・対応策はプロセスの見直し

：筑後市では2010年から、労働者性ある勤務態様で採用する非常勤職員の任用根拠を、それまでの特別職非常勤職員から一般職非常勤職員へと変更し、あわせて報酬については、行政職1給料表の級・号給を準用するという制度改善を実施している。「異動限定型正規公務員」

渡辺>介護・福祉は社会的ニーズをみたく仕事

均等待遇：非正規雇用の在り方改善・・・ジョブ型公務員制度＝職務限定、異動範囲限定だが、無期雇用、短時間の正規公務員

平野>定数の考え方をしっかりする。きっちりとした人事管理をしていく。

◎サービスの劣化と労働問題を結び付けていくことが重要である。

やっている仕事をオープンにして説明していく重要性。必要などころに必要な人を充てる。

所感

『都市問題』の公開講座に、全国から160名の申込があったとのことで、日本プレスセンター10階ホールの広い会場内では、資料のページをめくりながら、メモをとりながら講師やパネリストの話に聞き入った。

まず、西尾氏の基調講演の中で使われた「シビルミニマム」という言葉を紐解いたら、都市化社会・都市型社会において、市民が生活していくのに最低限必要な生活基準。これに基づき市民と自治体の協働で、社会資本整備、まちづくり、社会保障等の基準を定めるべきとされる。例えば郵便物がどんな過疎地・離島等にも配達されるのはシビルミニマムの一つである。

年々、自治体の公務員数が減少し、人手不足を非正規職員や任期付職員で公共サービスの補完をしているが、行政は多様なミニマム行政を模索していかなければならない。

講座を受けて、印象に残った内容は、増大する相談業務を非正規職員で対応することについて、筑後市の人事担当係長は、「相談業務の特殊性」を挙げ、相談業務は専門領域に関わる事項が多く業務に携わる者は、専門性とそれを裏打ちするための資格職としての性格が備わる。

一方、正規職員の人事制度は異動を前提とし、仮に研修費用をかけて資格を取らせても、資格を活かせる業務に留まるとは限らないという。硬直的な人事制度が配置不足と人手不足を招くことから、職務限定、異動範囲限定だが、無期雇用、短時間の正規公務員＝ジョブ型公務員制度の創設の必要性を学んだ。

また、NPO 法人 POSSE 事務局長である渡辺寛人氏は、大学院生、社会福祉士としてネットカフェ問題から貧困問題に関心を持ち、2011 年～仙台で被災地支援に取り組み、ブラックバイトユニオンを結成。

個別救済には限界があるため、支援を通じて制度的問題点や社会への影響を調査・発信。現場に根ざして現実にあった制度のあり方を提言されているという NPO としての役割に再認識。

折しも、東奥日報（2017年10月5日付）記事に NPO 法人 POSSE の取り組みが掲載されていましたので見出しを抜粋・・・『息子が無断で奨学金利用・・・「連帯債務ない」と母親が大阪地裁に提訴』：奨学金の返済に絡む問題を手掛ける記事が掲載されていたので紹介としました。

きっちり 16 時半の閉会・・・急ぎ足早に会場を後にした。来た道を後戻りというが、新幹線に乗り遅れてはと、不確かな記憶と「ごみ拾い」で鍛えた超急ぎ足と駅員の方へ行き方を訪ねながら、なんとか地下鉄に乗車・・・東京駅構内へ・・・新幹線ホームに辿り着き、夕食は駅弁購入。東京日帰りの公開講座受講で慌ただしかったが、これも自己選択なので・・・と思っている。

# ICU

60th Year 

教授 (行政学・公共政策)

## 西尾 隆

国際基督教大学

教養学部

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

Tel 0422 33 3168 Fax 0422 34 6984



[www.icu.ac.jp](http://www.icu.ac.jp)

弘前市民クラブ 東京公開講座日程表(政務活動費) 平成29年9月30日(土)

| 月 日          | 経 路   | 講 座 名   | 場 所 等  |
|--------------|---|---|--|
| 9月30日<br>(土) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前駅(07:26) = JR奥羽本線 = (08:01)新青森駅</li> <li>・新青森駅(08:20) = 新幹線はやぶさ46号 = (11:44)東京駅</li> <li>【昼食】東京駅構内</li> <li>・東京駅(13:01) = 東京メトロ丸ノ内線 = (13:05)霞ヶ関駅</li> <li>・霞ヶ関駅(13:08) = 徒歩 = (13:10)日本プレスセンター</li> <li>【公開講座】(13:30~16:30) ※開場13:00</li> <li>・日本プレスセンター(16:35) = 徒歩 = (16:37)霞ヶ関駅</li> <li>・霞ヶ関駅(16:43) = 東京メトロ丸ノ内線 = (16:47)東京駅</li> <li>・東京駅(17:20) = 新幹線はやぶさ29号 = (20:40)新青森駅</li> <li>・新青森駅(20:53) = JR奥羽本線 = (21:33)弘前駅</li> </ul> | <p>● 第46回『都市問題』公開講座<br/>「自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか」</p> <p>【事務局】<br/>(公財)後藤・安田記念東京都市研究所<br/>TEL 03-3591-1239<br/>FAX 03-3591-1209</p> | <p>【場所】<br/>日本プレスセンター 10階ホール<br/>東京都千代田区内幸町2-2-1</p> |

(参加議員) 加藤とし子 議員

# 普通交付税大綱を閣議報告

指定都市へ教職員給与費の移譲を含め、市町村分は0.6%減

高市早苗・総務大臣は7月25日、「平成29年度普通交付税大綱」を閣議報告した。交付額は、15兆3501億円。前年度比2.2%減となった。道府県分が8兆2524億円(3.6%減)、市町村分が7兆977億円(0.6%減)。

府県分が19兆3572億円(4.0%減)、市町村分が21兆8096億円(2.8%増)。基準財政収入額では、道府県分が11兆895億円(4.3%減)、市町村分が14兆6948億円(4.5%増)となった。需要額、収入額ともに、道府県分が減少し、市町村分が増加した主な理由は、道府県から指定都市へ教職員給与事務と税源が移譲さ

れたため。道府県分と市町村分の交付額の減額幅の差にも影響を与えた。29年度における算定方法の改正点は、①「まち・ひと・しごと創生事業費」に係る算定②一億総活躍社会関連施策に係る算定③教職員給与費の道府県から指定都市への移譲に係る算定④のほか、トップランナー方式(28年度16業務)への業務追加(青少年教育施設管理、公立大学運営の2業務)など。

①では、人口減少等特別対策事業費(6000億円)において、「取組の必要度」分(28年度5000億円)から330億円を「取組の成果」分にシフト。また、地域の元気創造事業費(3900億円)において、「行革努力分」(28年度3000億円)から330億円を「地域経済活性化分」にシフトした。②では、「ニッポン一億総活躍プラン」(本紙1980号2面掲載)に基づく保育士や介護人材等の処遇改善の事業費の地方負担961億円(保育士等554億円、介護人材・障害者福祉人材407億円)を算定してい

る。③では、移譲に係る標準的な経費の全額を税源移譲・普通交付税(臨財債含む)により措置している(算定額3194億円)。不交付団体数は、76団体(市は45市)で、28年度より1団体減。不交付団体が前年度を下回ったのは、5年ぶりとなった。29年度に交付団体から不交付団体になった市は、八潮市と摂津市の2市。

なお、大綱については、「平成29年度普通交付税の算定結果等」として、不交付団体の状況などと合わせて、総務省ホームページ([http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01zaisei04\\_02000077.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zaisei04_02000077.html))に掲載されている。

## 議会人事

※年の表記がないものは29年(7月22日適用)

(公財) 後藤・安田記念東京都市研究所  
(旧・東京市政調査会)  
第46回『都市問題』公開講座

### 「自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか」

『都市問題』公開講座は、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所(旧・財団法人東京市政調査会)の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に合ったテーマを選び開催しています。

第46回は次のような趣旨により、「自治体の「人手不足」をどう乗り越えるか」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

○開催趣旨  
自治体の総職員数は1994年に328万2千人余だった。だが、その後の経済・財政の停滞を受けた定員抑制によって減少し続け、2016年には273万7千人余となっている。とりわけ一般行政部門では対94年比で22%と大幅に減少している。加えて職員の年齢構成もいびつとなる傾向にある。自治体はこうした定員の減少を非正規職員の雇用や外部委託によってカバーしているものの、行政サービスのあり方への議論は尽きない。自治体は公共部門を支える人材をいかに獲得し育成していくべきか。自治体行政の根幹にかかわる問題を議論する。

○日程  
2017年9月30日(土)13:30~16:30(開場13:00)  
日本プレスセンター 10階ホール  
(〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1)

○出演者  
基調講演  
西尾 隆氏 (国際基督教大学教養学部教授)  
パネルディスカッション  
上林陽治氏 (公益財団法人地方自治総合研究所研究員)  
平野公三氏 (岩手県大槌町長)  
山本悟司氏 (京都府建設交通部長)  
渡辺寛人氏 (NPO 法人 POSSE 事務局長)  
西村美香氏 (成蹊大学法学部教授) <司会>

○参加費：無料  
○参加申込み：後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ (<http://www.timr.or.jp>) からお申込みください。  
○申込み期限：2017年9月28日(木)  
※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申込みください。  
○問合せ先：後藤・安田記念東京都市研究所  
TEL: 03-3591-1239、FAX: 03-3591-1209

### 災害救助法を適用

平成29年7月22日からの大雨による災害により、秋田県は28日、大仙市に災害救助法の適用を決定した(7月22日適用)。

### 被災者生活再建支援法を適用

平成29年7月22日からの大雨による災害により、秋田県は28日、大仙市に被災者生活再建支援法の適用を決定した(7月22日適用)。

|       |              |
|-------|--------------|
| ▽秩父   | 仲野邦廣(28.4.1) |
| ▽秩父   | 山岸剛(28.4.1)  |
| ▽射水   | 倉敷博一(4.1)    |
| ▽笛吹   | 菱山一(4.1)     |
| ▽印西   | 染谷豊(4.1)     |
| ▽各務原  | 土川孝(4.1)     |
| ▽柏原   | 前川留彦(4.1)    |
| ▽京丹後  | 西山茂門(4.1)    |
| ▽美馬   | 住友礼子(4.1)    |
| ▽北広島  | ▼事務局長        |
| ▽練馬   | 酒井妙子(7.7)    |
| ▽江田島  | 林久光(6.13)    |
| ▽佐伯   | 吉良栄三(5.9)    |
| ▽宿毛   | 山上庄一(5.9)    |
| ▽副議長  | ▼議長          |
| ▽尼崎   | 丸岡鉄也(7.11)   |
| ▽秩父   | 新藤信夫(7.10)   |
| ▽江田島  | 藤代武雄(5.16)   |
| ▽練馬   | 小林みつぐ(7.7)   |
| ▽さいたま | ▼議長          |
| ▽秩父   | 松澤一雄(28.6.7) |
| ▽佐伯   | 三浦涉(5.9)     |
| ▽印西   | 登地靖徳(6.13)   |
| ▽江田島  | ▼議長          |
| ▽練馬   | ▼議長          |
| ▽さいたま | ▼議長          |